

(財) 第五福竜丸平和協会

〒136 東京都江東区夢の島3-2
都立・第五福竜丸展示館内
電話 (521) 8494

福竜丸だより

— 都立・第五福竜丸展示館ニュース —



メッセージ

どうぞ、一時の「熱」、義理、おつきあいなどではなく、人間をたいせつにし、まっすぐに核兵器をなくし平和をつくる運動にしてください。夫は、私を最後にしてほしい」と、今日もお墓の下でさけんでいるのでしょうか。

広島・長崎の被爆者のご遺族の皆様のお気持ちをとてもひとごとには思えません。原水爆の被害者は、夫の「遺言」どおり、夫を最後としなければ原水爆の犠牲になったものは浮かばれません。

今年を機に、あの「死の灰」被災をうけた年に盛り上がった運動と世論にまさる国民みんなの、人類あげての力強い運動と世論が再び盛り上がり、私たちが生きていくうちに、恐ろしい核兵器をはたしなくふやしてゆく競争をきっぱりやめさせ、核兵器をなくして、夫の「遺言」を守りぬかれることを見とどけて、子どもたち、孫たちに世をゆずりわたしたいと、切にねがっています。

久保山すず

来館者の声から

江東区立中学校の教師になって三年目、初めてきました。船の歴史が人の一生のように思えてきました。まさに平和の訴え、核を無くせと呼んでいるようでした。涙がでてくる自分が自然でした。

＊

すてられないで、残っていてくれてよかったです。もし、残っていなければ、私達は第五福竜丸のことを忘れてしまっただろう。かわいそうだった。

＊

二年ぶりの計画でようやくこれ来ました。これからも国際平和のために残してほしい(竹永)。

＊

私は大学入試のために上京した。選択科目が政治、経済であったため、第五福竜丸のことは知っていません。今なお続く、超大国の超大規模殺りく兵器開発競争に恐怖をおぼえる(松村光久)。

いま学校で第五福竜丸のことを勉強しているので、きてみました。「わたしたちの七砂」でみるより、べんきょうになりました。ぼくは、七砂小の三ねんせいです。はやく船がなおればいいです。きねんにしゃしんをうつしていきます。

＊

ずっと残しておいて良かったと思う。あのまま放置されていたら、福竜丸のことなど皆忘れてしまい、それといっしょに原爆のことも忘れられていってしまうでしょう(専修大学松戸高校一年)。

＊

僕たちは水爆の恐ろしさを知りません。想像以上だと思います。平和を大切にしていきたい(同校 柴 仲田、佐々木、海老原)。

＊

今の僕たち若者は原爆の恐ろしさなど全くわかりません。ですからこの恐ろしさを少しでも、これからの人達に残すのは本当に必要な事だと思えます(同校小嶋)。

＊

私達は原爆の恐ろしさを知りません。けれど少しづつでも勉強して核を許さない強い姿勢をとっていきたく思います(滝本)。

第五福竜丸のみなさまへ——中学生からの手紙

先日は、私達一同第五福竜丸への後学校で社会の見学見学にお招きいただきまして、あの感想を述べ合いました。みんなりがとうございました。見学前日には、社会科学の作ったしおりを、見たか、いろいろな意見が出ました。第五福竜丸のことについて少し勉強し、みなそれぞれ思いをよせていたと思います。見学中はなかなか前に進まず、あれほど展示物に触れてはいけなかったのに、それを忘れ、触れてしまった人もいて、すみませんでした。そ組 油本芳孝)。

編集後記

▼二月二十日、中野好夫先生が亡くなられた。中野先生は第五福竜丸保存運動にたずさわり、その後は平和協会の顧問をされていた。個人的にはチャップリンの自伝の訳者として親しみを覚えていた。ふと、チャップリンの初トキー「独裁者」の名演説「ユダヤ人も黒人も白人も人類はお互いに助けあうべきである……」を思い出す。慎しんで冥福をお祈りします。

▼三月一日を前後して、新聞、テレビ等の取材が相次いだ。船体の修理、ビキニ水爆被災船神通川丸の追跡調査、大石又七氏が和光中学校へ福竜丸模型寄贈……今、さまざまな角度から第五福竜丸に関心寄せられている。来館者も昨年同様も修理中の福竜丸を是非見に行らして下さい(は)。

●100万人参観者運動を!

85年2月来館者数	7,413名
通算1カ月平均来館者数	5,151名
当月1日平均来館者数	309名
通算来館者数	540,901名

ビキニ水爆被災31周年、各地で集会

平和協会「廃船」上映

二月二十八日、江東区文化センターでひらかれた「三・一ビキニ事件記念集会」(第五福竜丸平和協会主催)には雨の中、約百人が参加。猿橋勝子理事の主催者あいさつの後、NHK制作技術局の玉造仁一氏の「廃船、第五福竜丸の訴え つづけたもの」と題する記念講演と記録映画「廃船」(一九六九年・NHK制作)の上映を行なった。玉造氏は、「核軍拡競争が進む大きな流れの中で、核に対して正



確に認識できる映画を作ろうと、核戦争後の地球」を制作した。だれもが核廃絶を願っている。祈るだけでなく、少しでも核軍縮の方向にわれわれは向けていかなければいけない」とのべた。

また、集会にはカメラマンの島田興生氏や杉並区立公民館存続の運動を行なっている婦人らも参加。島田氏は「マーシャルを追い続けて十年になった。五年間、マジュロに常住することに決めた。マーシャルの人々の生の声を伝えたい」と抱負を語った。

一方、静岡県焼津では三月一日、全国から二千人以上の人が集まり焼津市民体育館で統一集会が開かれた。

集会では、服部毅一焼津市長、中央各界代表があいさつ、久保山かずさんのメッセージが紹介された。安斎育郎氏(東大)は「未来核戦争の原点としてのビキニ水爆被災」、藤田久一氏(関西大)は「太平洋の現状と非核化の展望」と題して記念講演。また、'85世界大会が開催される長崎からは準備

委員会代表団が参加、世界大会に向けての決意をのべた。最後に、「いまや、被爆国日本の国民と太平洋地域の諸国民は連帯を強め、世界からすべての軍事同盟と軍事ブロックを解消させる運動の第一線にたたねばなりません」との焼津アピールを採択した。

3・1の展示館に千二百名

ビキニ水爆被災31周年の3・1、展示館は一日中船を見つめる人であふれた。毎年つづけられている桐朋中学校三年生の見学会をはじめ七つの小学校などから千二百余名この日、読売新聞の一面トップで報じられた、第五福竜丸の死の灰今も強い放射能のの記事に、ケース内の死の灰のビンを見つめ、これが！と驚きの声をあげる高校生、いま核兵器全面禁止の署名運動への決意を新たにしたいという青年、修理中の船にとカンパをよせるお母さんなどなど。

一月から始まった船体修理は最大の難所にかかり、この日は龍骨と床面の間に五十センチ四角の太い松の横木を全面に打ち込む工事中で電動カンナの音やコーンとい

う木づちの音がこだました。垂れ下がっていた船首・船尾もやっとかさ上げされ、ひとまわり大きくなったよう。船は全身で核戦争阻止・核兵器廃絶を訴えた。

そんな中、NHK、テレビ東京、広島テレビなどがあいついで取材。猿橋勝子・本多喜美両理事もかけつけインタビューにこたえた。

また、午前十一時近く、展示館から、再び許すな東京大空襲、下町一キロ二万人平和リレー行進」が出発。第五福竜丸を起点に、東京大空襲の最被害地下町の露路すみずみを踏みしめる行進を雨にひかる記念碑が見送った。

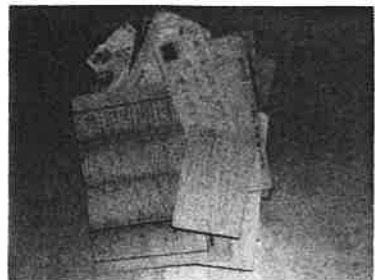
サイパン・テニアンからも船を見学

三月三日、放射性廃棄物の太平洋投棄に反対する北マリアナ連邦の代表団(サハラ下院議長ら26人)の一行が第五福竜丸展示館を見学。サイパン・テニアン島のお母さんや高校生、子どもたちもまじえ、「これが久保山さんのふね、核兵器のない太平洋へのシンボル」とくまなく館内をめぐる、おりから来館中の町田のサークルとも交流した。

第五福竜丸乗組員、増田三太郎さんへの手紙

やす子夫人より寄贈

元第五福竜丸乗組員、増田三太郎さんが肝臓がんで亡くなってから五年。事件当時、放射能被害の最も重かった増田さんには、全国からたくさんの手紙が寄せられた。この度、その手紙の一部がやす子夫人(焼津市石津在住)より展示館に寄贈された。増田さんが入院していたのは、東大病院。やす子さんは東大病院の看護婦だった。手紙はやす子さんの思いのこもったものである。



入院中に届けられた増田三太郎さんへのお見舞状(やす子夫人より寄贈)

被災後、第五福竜丸乗組員二三名は東大病院(七名)と国立東京第一病院(十六名)で、一年以上にわたる入院生活を送る。病院には毎日ストレッチャー一台の手紙、

葉、人形、絵、習字などが届けられた。増田さんへの手紙はみかん箱、二箱分にもなった。若い人からのものが多く、増田さんはコッソツと返事を書いた。当時はまだ不治の病といわれた結核患者の人からのものもあり、互いの病気を励しあった。何人かの人とは、その後文通を続けていた。

やす子さんは現在、焼津市立病院の小児科病棟に勤務。若い看護婦さんたちは、やす子さんが第五福竜丸乗組員の家族であることをほとんど知らない。事件そのものにも関心を示さない。だが、市立病院では現在でも年一回、市内に住む元第五福竜丸乗組員の精密検査を行なっている。

「あと十年生きていてくれたらと思うと淋しく悲しいです。展示館にはまだ行ったことがありませんが、お父さんの乗っていた船なのでいつまでも保存しておいてほしいと思います」と、やす子さんは語る。

増田さんへの手紙より抜粋

●ぼくがさかなを食べる時、増田のおじさん、ぼくは水そばくだんのはいをかぶったと、きいた時はびっくりしました。前に、しんぶんで、おじさんのお話をみました。このごろは、くぼ山さんのことばかりしんぶんについているのでおじさんの方がわかりません。

●ぼくはさかなを食べる時は、いつもはいをかぶった人のことが頭にうかんできます。一どはさかなを食べるのにこわかったことがあります。雨にもほうしゃのうがはいつていることをききました。

●ぼくは、ぼくだんのじっけんをやめてもらいたいと思います。とおくからですが、おじさんが早くなおるのをのりしてあります。(九月/静岡県磐田市立磐田北小三年 大原道明)

●新聞記事に毎日やんで増田さんやその他みな様御病気がかかっていますか。水爆の被害を受けられてから、早一ヶ月になりますね。新聞で毎日何々の船に元素が何カウントあったとかいう記事ばかりで私達は、毎日やんでいま

す。こんな水爆なんか作らないで平和な世の中になる事を私達はいつています(四月/江東区立深川第一中二年 三少女)

●署名運動に参加して、永い間の戦争のあげくのはてに、日本は原子爆弾を投下され、筆舌につくし得ない不運をこうむり、心の底から平和への道を選んでおられますのに、あの原爆よりも恐ろしい水爆実験により、増田様方の漁船をおそわれた事に、心から御同情の涙を禁じ得ません。それと共に実験した米政府が水爆実験は禁止しない様報道を聞き、恐怖につつまれた、憤怒の念一杯で御座居ます。

先般来、水爆反対の署名運動をして参りました。私達は手をとって平和のために頑張っていきたいと存じます。漁業により日本の国を建てて行こうとしておられる皆様方の船に、このような実験の災を今後あるとしたならば、全く遺憾な事で、絶対になくしたいものであります。私達日本国民の世論により世界にうたえたいものです(九月/静岡県 齊藤豊)